

自然物から人の五感の特性をつかみとり、自然物の特徴を把握するのが普通ですが、このプログラムは逆に、五感の特徴から自然物を見つける作業をしてみましょう。新たな五感の感覚がつかめるようになるでしょう。

ねらい

自然界のものを見た目ではなく、他の感覚を使って理解することを大切にできるようになる（匂いをかいだり、さわったり、するようになる）。

達成目標

- ・五感の特性から自然物を見つけ出すコツを言えるようになる。
- ・作業の途中で五感を使ってみつけたおもしろいもの、気になるものについて指摘できるようになる。



導入

1つの自然物について、見た目、匂い、さわった感じ、音についての確認の仕方をおさらいする。

展開

参加者に4枚のカードを配り、それぞれに見た目(形・色など)、匂い、さわった感じ、音に関することばを記入してもらおう。一度カードを集め感覚ごとに分ける。参加者は再度、4つの感覚のカードを一枚ずつひいて、4枚のカードを持つ。そしてそのカードにあてはまる自然物をさがし出す。

まとめ

みつけた自然物を紹介しあう。作業を通じて感じたことをわかちあう。

実施のポイント

みつけてきたものに多少無理があってもよしとしよう。視点を変えたり、工夫して見つけ出すように促そう。

- ◆所要時間 1時間
- ◆人数 ~40人
- ◆関連科目 国語、理科、音楽
- ◆焦点を当てる能力 探す、発見する、表現する
- ◆準備するもの カード(人数×4枚+α)
- ◆安全のポイント 範囲の指定を明確にしよう。

評価の視点

指示のカードに示されている感覚をいろいろ試してみたかどうか。工夫して見つけ出そうとしたことを大切にしよう。

発展・応用

みつけ出したものを表や図にして、その辺りにある自然物の特徴を把握する試みもしてみよう。

参考文献

オリジナル/「森 美文氏オリジナル(同タイトル)」を改変

◆与えられた条件

年 月 日 名前

見ため(色・形)

予想

匂い

見ため(色・形)

音

みつけたものをスケッチしてみよう

タイトル

◆探してみte感じたこと / 気づいたこと